

2月の県内景況調査結果の概要

1. 主要指標の前年同月比D I 値の動き

3年2月のD I 値は8指標中、5指標が小幅ながら上昇。「販売価格」「雇用人員」においては下落となり「景況」については横這いとなった。

2. 県内中小企業の景気の現状

建設業関連では需要が堅調であり、自動車販売整備業においても引き続き前年度比プラスとなり、需要が好調であった様子。また食料品関連でも家庭用食品が巣ごもり需要により堅調であるとの明るい報告も寄せられた。

一方、高齢化や人材不足など慢性化する労働力問題をはじめ、依然として原材料高や燃料価格の値上がりも続いている。加えて、長引く新型コロナウイルスの影響により、厳しい状況が続いており、先行きを不安視する声も多くの業種から寄せられた。

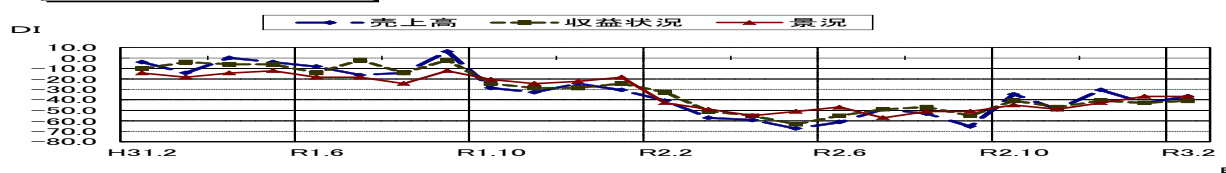
景気は米中貿易摩擦や日韓関係の悪化など緊迫する国際情勢、また我が国をはじめ世界中で出口の見えない新型コロナウイルス問題など国内外経済の下振れリスクが顕著化してきており、一部に持ち直しの動きがあるものの景気の低迷が続いている。県内中小企業においても、更なる景気の悪化に備える必要がある。

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

	R2 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月	前月比 増減
景況	-42.9	-49.0	-55.1	-51.0	-46.9	-57.1	-51.0	-51.0	-44.9	-49.0	-42.9	-36.7	-36.7	0.0
売上高	-40.8	-57.1	-59.2	-67.3	-61.2	-49.0	-53.1	-65.3	-34.7	-49.0	-30.6	-42.9	-36.7	6.2
収益状況	-32.7	-51.0	-55.1	-63.3	-55.1	-49.0	-46.9	-55.1	-40.8	-46.9	-40.8	-42.9	-40.8	2.1
販売価格	8.2	2.0	-12.2	-2.0	-2.0	0.0	-6.1	-10.2	-8.2	-2.0	-6.1	0.0	-6.1	-6.1
取引条件	-14.3	-20.4	-30.6	-26.5	-18.4	-22.4	-18.4	-12.2	-18.4	-16.3	-12.2	-14.3	-12.2	2.1
資金繰り	-26.5	-32.7	-40.8	-40.8	-36.7	-30.6	-20.4	-24.5	-18.4	-24.5	-24.5	-26.5	-24.5	2.0
設備操業度	-8.2	-10.2	-14.3	-14.3	-22.4	-16.3	-12.2	-18.4	-14.3	-16.3	-14.3	-16.3	-12.2	4.1
雇用人員	-6.1	-12.2	-18.4	-8.2	-10.2	-10.2	-10.2	-6.1	-6.1	-8.2	-8.2	-4.1	-8.2	-4.1

※DI値・・・好転（増加・上昇）したとする割合から、悪化（減少・低下）したとする割合を差し引いた値のこと。

前年同月比DIの推移



【景況関連の報告】

【製造業】

<食料品>

1. 味噌・前年同月比、みその生産量は96.4%、出荷量は94.4%となった。前月比でみその生産量は微増、出荷量は減少した。巣ごもり需要による家庭内調理機会が増加し、小売り需要が増えた一方、飲食業の営業自粛や時間短縮による外食需要減少など業務用需要の大幅な減少の影響を受けている。
2. 漬物・依然コロナの影響で企業活動の縮小がみられる、工場での操業をストップしている企業もある。農家でも葉物野菜に売り上げの現象がみられる。人参を生産している農家は3月に向けて収穫の準備に忙しい。

<繊維・同製品>

3. 縫製・縫製業界は、全般的に落ち込んでおり、回復の兆しが見えない状況である。新型コロナウイルスの影響により新しい生活様式が定着しつつある一方で、経済強化へのシフト変更が政治的に行われ、景気回復への期待感があるものの、製造業特に繊維分野については景気回復に多くの期待はできないと思われる。景気冷え込みの長期化に備え、引き続き企業体力堅めに注力している。生産については、従前と同じく次月以降分の製品備蓄を中心に展開している。

<木材・木製品>

4. 製材・年明け後も変わらず引き合いが弱く、在庫が増加傾向にある。
5. 木材・2月当組合は36協定についての講習会を開催したが、組合員の関心度が低く「働き方改革」施行がすでに2019年から始まっているのにもかかわらず全くだ。組合事務局としては、今後のために準備だけは滞りなく済ませておこうと考えている。
6. 木材・原木丸太はあいにく少ない。年度末なので入っている数量を流し流通ははかりたい。

<印刷>

7. 印刷・2月も全体的に売上高や需要の減少傾向が続いている。年度末需要に伴う売上高の増加と需要の回復を期待するところだったが、新型コロナウイルスの影響で徳島マラソンや花春フェスタなどの大型イベントは中止。チラシ、ポスター、プログラム等の印刷需要が低迷している。更に長期戦になることは避けたいところだが、現実的には長期化と環境変化は避けられないところでもある。心づもりと準備が必要である。目先を変えた提案で消費マインドを少しでも上げて経済の活性化を目指していきたい。

8. 印刷・毎年2月は、そんなに仕事の多い月ではないが、コロナ禍の影響で更に低調な月になった。2月末に四国4県の組合の理事長が集まって意見交換をしたが、イベントなどの催事が中止になるなど、以前受注していた印刷物がなくなり、苦戦しているとのことだった。4月から2月の売上げが前年と比べて20%~40%落ちているという組合員が多かったと報告があった。年度末の3月に期待したいところだ。

<窯業・土石製品>

9. 生コン・2月は昨年同月と比較して約13%減少。昨年はトンネル工事と災害関係の工事があったが、今年度はトンネル工事は終了したが堤防樋門や災害工事などまとまった出荷があり、昨年度よりは減少したがある程度のお荷量があった。
10. 生コン・2月の出荷数量は、対前年同月比9%減であった。要因としては、出荷数量が前年同時期と比較して、大型工事の終了とそれに代わる官民での新規工事の減少による。今後の展開としては、県・国等の公共工事はある程度見込めるものの前年並みの数量確保は厳しいと思われる。

<鉄鋼・金属>

11. 鉄鋼・業況感に大きな変化はなく、概ね横ばい状況で推移している。設備操業度も企業によってバラツキがあるものの、回復傾向が見られる。県内景気は、引き続き持ち直しつつあるが、一部に足踏み感が見られるとのことではあるが、今後とも持ち直しの動きが続くことが期待される場所である。
12. ステンレス・国内の状況は、引き続き鈍い動きの中でも回復の兆しはあるものの、まだまだ先行きの不透明感は継続している。海外についても、渡航規制緩和の目処は立たない状況が続いており、今後ワクチン接種による新規感染者の減少に期待している。首都圏を除く緊急事態宣言の解除後も、感染拡大の防止策を講じつつ企業活動レベルの引き上げを行っているが、コロナ禍以前と同様までの回復はまだまだ見通しが立たない状況にある。

<一般機器>

13. 機械金属・景況感は、一部に持ち直しの動きも見られるが、長引く新型コロナウイルスの影響もあり、営業活動の停滞等により売上高や引合いなどに、引き続き厳しい状況も多く見られ、依然として先行きの見通しが不透明で、将来に対する不安感は拭えない状況である。また、熟練技術者をはじめ従業員の確保難、原材料価格その他の経費の増加なども、経営上困難な課題として見受けられる。

【非製造業】

<卸売業>

14. 食糧卸・スーパー・ドラッグストア等、家庭用向けの出荷は安定。一方、米穀店・食堂等、外食向けの回復は見受けられない。

<小売業>

15. ショッピングセンター・2月は大変悪かった。売上高の前年対比は全店計93.6%（組合員店舗94.7%）、客数88.9%（組合員店舗89.4%）だった。原因がわからない。昨年ほうとう年で29日あり、今年は28日だが、当館は今年の2月に定休日がなかったの、営業日数は28日と同じだ。日曜日も同じ日数があった。土曜日が1日少なかったが関係ないだろう。じゃあコロナ禍？ それもないと思う。販促も昨年と同様のことを行った。10月98.5%、11月97.2%、12月102.3%、1月107.0%と推移していたのが、いきなりの93.6%なので、リニューアル景気が僅か2ヶ月で終わったのかと思うとかなりのショックだ。ただ商品単価は105.9%と増えているので、12月オープンの新店を入れれば館全体の売上は105.3%だ。原因はわからないが、リニューアル景気が終わったのかどうか3月の様子を見てみようと思う。
16. 各種商品小売業・通常の2月でも厳しい売上となるうえに、コロナ禍。そして退店のお店も相次ぎ、問題は山積みのような。
17. 量小売業・例年2月は仕事量が少ないが、本年は特に少なかった。初旬、中旬は特に悪く、下旬になってやっと物が動き出した。ハウスメーカー以外は、ほとんどなく一般家庭や業務用も低調だった。
18. 電気機器・家電製品は買換え需要が中心でコロナの影響は少ない。設備機器等工事関連も底堅い需要で順調。
19. 機械器具・本年より来年度がさらに状況が悪化との話題が出始めている。

<商店街>

20. 徳島市・コロナ禍ではあるが、新しく2店舗が組合に加入してくれた。（新規出店1店・既存店1店）飲食店では補助金申請を行った店舗も多数ある。売上げに関しては、前年同月より大幅に減少している。
21. 徳島市・2月は元々商売には厳しい時期。そのうえ都心の緊急事態宣言により、さらに人出が少ない。売上高自体は、ゆるやかな減少にとどまった。
22. 阿南市・全体的に横ばい。

<サービス業>

23. 土木建築業・徳島河川国道事務所の2月の動向は、先月と比較して大きな変化はない。工務課は新直轄工事は一部供用に向けて忙しく工事を進めている。牟岐バイパス・南環状線道路・桑野道路の事業は去年と同程度の工事量と思われる。工務全体の業務量はすこし少なくなった。道路管理課は業務・工事等の新規発注が落ち着いてきた為、すこし先月より落ち着いた。交通対策課は「先月と同様」共同溝の整備事業が多く忙しいが、管理課と同様に発注が落ち着きだした。去年度との比較については、工事現場（新直轄）での作業量は多くなっているが、大手企業の発注する工事が多々あり、県内業者は下請けにて参入しているようだ。新直轄工事以外の工事量はほぼ同じと思われる。（猪鼻、阿南、牟岐等）
24. 自動車販売整備業・登録車（普通車）の新車登録台数は対前年同月比5.1%の1,527台、中古車は-4.6%の461台、合計では2.7%の1,988台であった。軽自動車の新車登録台数は対前年同月比5.9%の1,425台、中古車2.0%の450台、合計は5.0%の1,875台である。登録車・軽自動車の登録台数合計は対前年同月比3.8%の3,863台と増加。登録車の中古車販売台数が4.6%減となった以外はすべて前年度比がプラスとなり、販売台数はトータルで3.8%増となった。今年度は新型コロナウイルスによる景気の乱降下を感じながらも例年程度の販売状況にもどりつつある。コロナ禍の営業として、店内や展示車、試乗車等のアルコール除菌を実施している旨をHPに掲載するなどしてお客様の安全に努めていることを周知する工夫もしながら集客に力を入れている事業所も増えている。収益状況の目安とみている継続検査の台数は減少することなく登録車は前年度比8%増、軽自動車は3.9%増という結果。サービス部門では、無料の車内除菌サービスの実施や車内用除菌対策用品を販売するなど、コロナ禍でもお客様に安心して点検・車検を受けてもらえるよう工夫が施されている。
25. 旅行業・旅行業は全てにおいて、悪化の最悪の現状である。
26. ビル管理・近年、取引条件がほとんど変化しない中、最低賃金の引き上げが続いている。（H25年・666円→R2年・796円）。このような急激な最低賃金の引上げに伴う影響が確実に現れてきている。更に、働き方改革への対応（同一労働同一賃金など）、労働需給の逼迫、先般成立した社会保険（厚生、健康）改革法の施行に向けての対応など多くの課題に包まれている状況だ。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響が長期に及んでいるホテル分野のメンテナンス業務においては、GOTO等による一時的な回復はあったものの、一部事業者においては企業体力そのものが徐々に失われつつあり、今後予断を許さない状況が続くものと思われる。また、病院や高齢者利用施設等においては、管理者と連携し、細心の注意の下で業務を遂行しているところだ。全体としてみると、2月分は前年同時期と比べ、新型コロナウイルスの影響のケースを除き、大きな変化はない。しかしながら、現下の新型コロナウイルスの感染状況を見ると、今後、多様で深刻な影響が現れてくることも想定され、これを念頭に事業活動に当たっているとところだ。

<建設業>

27. 建設業・西日本建設業保証㈱によると、徳島県発注工事は、2月末現在で請負額約514億円で対前年比25.6%増となっている。公共工事全体でも8.4%増となっている。第3次補正予算による公共事業が今後発注されるため、技術者や技能者の不足が懸念されるが、施工余力はある。
28. 電気工事業・新設住宅口数は140件であり、対前年比52.8%と大幅に減少した。
29. 板金工事業・住宅に関して金属屋根及び金属外壁の需要が増え、非常に忙しい状況は続いている。
30. 鉄骨・鉄筋工事業・2月は、前月と変わらない。

<運輸業>

31. 貨物運送業・先月に続き営業日数の少ない今月は新型コロナの影響上、例年荷動きが少なく低調に推移。反面、軽油単価は昨年12月より今月まで平均で11円値上りとなっている。業界にとって、新型コロナの影響とはいえ最悪の状態、また今後の軽油単価は値上り傾向で厳しい経営を迫られている。
32. 貨物運送業・11都府県で出された緊急事態宣言の影響で荷物によっては、影響を受けたものがある。特に青果物や飲料や紙製品などは大きな影響を受けたようである。軽油価格は新型コロナウイルスワクチンでの経済正常化への期待等から13週連続で値上がりしており、現在も原油価格は上がっているためまだ値上がるだろうと予測されている。